

東京の文化財

東京都教育庁地域教育支援部管理課

◆目次◆

- 東京文化財ウィーク総力特集……………1～5
- 東京文化財ウィーク2010が始まります!!…1
- 各事業の御紹介……………2
- 東京都教育委員会主催事業……………3
- 東京文化財ウィーク2009について……………4
- 文化財見学の際のお願い
文化庁・東京都教育庁主催事業……………5
- わがまちの文化財(西多摩郡日の出町)……………6
- わがまちの文化財(三宅村)……………7
- 文化財情報コーナー……………8

東京文化財ウィーク2010が始まります!!

■東京文化財ウィークとは

東京文化財ウィークは、国の「文化財保護強調週間」にあわせて、東京都内各地にある文化財を一斉に公開する「都内文化財一斉公開事業」と、文化財に関連した文化財めぐり、特別企画展等を開催する「文化財関連企画事業」の2事業を中心に実施される、身近な文化財に親しんでいただくという東京都の事業です。

今回で13回目を迎える東京文化財ウィーク。ぜひ、御参加ください。

■東京文化財ウィーク2010 開催日程

都内文化財一斉公開事業

平成22年10月30日(土)から平成22年11月7日(日)まで

文化財関連企画事業

平成22年10月1日(金)から平成22年11月30日(火)まで



※各文化財の公開日程や各企画事業の参加方法は東京文化財ウィークガイドブック(9月下旬発行)を御覧ください。東京都庁の窓口や各区市町村教育委員会の窓口、ガイドステーション等で配布予定です。

各事業の御紹介

都内文化財一斉公開事業

東京文化財ウィークの都内文化財一斉公開事業で公開している文化財は、すべて国又は都の指定又は登録を受けている文化財です。これらの文化財の多くは日常生活の中に入り込んでいて普段は目立ちませんが、改めてその歴史や由来と共に向き合ってみると、私たちの今の生活や文化につながっていることに気づきます。

なお、文化財公開の現地では、皆様に文化財をより詳しく御理解いただくために文化財解説カードを配布しています（一部の文化財は現地付近の資料館等で配布）。解説カードは実際にその場所を訪れないと手にすることができないものです。今年は都内全域（島しょ地域を含む）で、約450種類の文化財解説カードが配布されます。好きな文化財を一つ一つ訪れて集めてみてはいかがでしょうか。

文化財関連企画事業

地元の文化財を巡る文化財巡り、文化財の歴史を紐解く講演会、博物館での特別展等、今年も趣向を凝らした企画が目白押しです。公開事業で見学した文化財をより深く知るために関連する講演会に参加したり、近隣文化財巡りや特別展で身の回りにある文化財を再発見したりと、楽しみ方もそれぞれです。御興味のある企画事業にはどうぞ積極的に御参加ください。

なお、文化財巡り等、一部の文化財関連企画事業では事前の申込が必要な場合があります。参加の方法等詳細につきましては東京文化財ウィーク2010ガイドブックで御確認ください。

今回の特集では、一斉公開事業の中から今回から東京文化財ウィークに参加する文化財の一部を御紹介します。

●都指定有形文化財(考古資料)「稲荷台遺跡出土品」

平成22年3月26日付けで東京都指定有形文化財(考古資料)に指定された稲荷台遺跡出土品は、昭和14年に発掘された当時最古の縄文文化を示す資料と位置づけられ、現在でも関東地域の縄文時代早期の土器型式「稲荷台式」として定着しています。考古学史上重要な標識資料として学術的価値が高いもので、板橋区立郷土資料館にて展示されています。

- ◇公開場所 板橋区立郷土資料館
(東京都板橋区赤塚5-35-25)
公開時間 月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日)と年末年始を除く午前9時30分～午後5時
交通 都営三田線「西高島平」駅 徒歩15分



稲荷台遺跡出土品

●国登録記念物(遺跡関係、名勝地関係)牧野記念庭園

植物学者である牧野富太郎が、晩年、居住及び研究の場とした居宅及び庭の跡で、その偉業を記念するために整備された庭園です。現在でも書斎の一部や牧野博士が植えた植物が多く残っています。平成22年8月に建物の改修が終わり、記念館がリニューアルオープンしました。

- ◇公開場所 牧野記念庭園(練馬区東大泉6-34-4)
公開時間 火曜日(火曜日が祝日のときはその翌日)と年末年始を除く午前9時～午後5時
交通 西武池袋線「大泉学園」駅 徒歩5分

●東京都指定史跡「日野宿脇本陣跡」

甲州道中日野宿の名主佐藤彦右衛門家の屋敷跡で脇本陣が設置されていました。敷地内には、幕末竣工の建物が現存し、屋敷地の主要な部分も大きな改変を受けずに良好に保たれています。本陣・脇本陣跡で敷地と屋敷が現存する都内で唯一の史跡で、平成22年3月26日付けで東京都指定史跡に指定されました。

- ◇公開場所 日野市日野本町2-15-9
公開時間 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)と年末年始を除く午前9時～午後5時
交通 JR中央線「日野」駅 徒歩12分



日野宿脇本陣跡

目黒区・東京都教育委員会主催特別企画事業

旧前田邸と駒場の文化財

—歴史と文化を巡る時間—

様々な企画事業の他に東京都教育委員会が企画、御提供する特別企画です。今回は、去年の応募倍率が約4倍であった「東京を旅しよう。～旧前田邸と駒場の文化財～」を、参加者の方の声を基に改良したプログラムで御案内いたします。

本企画事業では目黒区にある旧前田侯爵家駒場

本邸（洋館、和館のほか普段公開されていない渡り廊下等を含みます。）とその周辺の文化財を学芸員の解説とともに巡ります。前田家で当時使用していた家具の展示や当時の生活にまつわるエピソード等を交え、歴史と文化を感じられる時間を御提供いたします。

なお、本企画事業には**事前のお申込みが必要になります（応募者多数の場合抽選）**。応募方法等は以下の企画概要を御覧ください。

企画概要

日 時 平成22年10月17日(日)

第1回 午前9時30分から午前11時まで

第2回 午前11時から午後0時30分まで

第3回 午後1時30分から午後3時まで

(計3回・各回1時間30分予定)

見学場所 旧前田侯爵家駒場本邸洋館・和館ほか

受付人数 各回20人

集合場所 京王井の頭線 駒場東大駅東口改札前

参加費用 一人50円（保険料として当日受付時に頂戴します。）

応募方法 往復はがきに

① 代表者の住所

② 参加者の氏名（ふりがな）

③ 代表者の電話番号

④ 参加希望人数（2名まで）

⑤ 参加希望回（第1回～第3回から選択）

を御記入の上、〒163-8001 教育庁文化財保護係（住所不要）までお送りください。

応募締切り 平成22年10月6日(水)消印有効

お問い合わせ 東京都教育庁地域教育支援部管理課文化財保護係

電話 03-5320-6862

なお、目黒区内に在住、在勤の方は目黒区教育委員会へお問い合わせください（別途、参加者を募集します。）。

目黒区教育委員会問い合わせ先 目黒区教育委員会事務局地域学習課文化財係

電話 03-5722-9320



東京文化財ウィーク2009について

昨年(2008)の東京文化財ウィークでは、都内文化財一斉公開事業で445件の文化財を公開、文化財関連企画事業では185件の企画事業が開催されました。都内各地で所有者の方、ボランティアの方に御協力をいただき、東京文化財ウィーク2009の参加者は46万人にのびりました(延べ人数)。

東京文化財ウィーク2009表彰事業

東京文化財ウィークでは文化財保護の観点から特に注目された事業を「東京都知事賞」「東京都教育委員会賞」として表彰しています。昨年度実施されたたくさんの事業の中から、文化財ウィーク推進委員会での白熱した議論を経て、以下の事業が各賞を受賞しました。

東京都知事賞

○公開事業「旧安田楠雄邸庭園」企画事業「となりの高村さん展」(財団法人日本ナショナルトラスト、NPO法人文京歴史的建物の活用を考える会(たてもの応援団))

「旧安田楠雄邸」は、豊島園の創始者である藤田好三郎氏が大正8年に建築し、大正12年から旧安田財閥の安田善四郎氏が買い取り、長男の楠雄氏が平成7年まで住居として利用していた建物です。東京都指定名勝の庭園と住宅は当時の雰囲気を感じて今に伝えています。東京文化財ウィーク2009では、隣に住み、古くから安田家と交流の深い高村家(光雲氏、光太郎氏等)をテーマとした企画展「となりの高村さん展」を一般公開と合わせて開催しました。

◆推進委員会での評価

邸宅の維持管理や内部公開をNPOやボランティアの方々が中心となって意欲的に行っている点、企画展が工夫されており地元への愛着が感じられた点等が高く評価されました。特にボランティアの方々の熱心な解説に感銘を受けたとの声が多く挙がりました。



東京都教育委員会賞

○企画事業 秋の文化財講座「下町の住まいをめぐる～長屋からアパートまで～」(台東区教育委員会)

東上野界隈の長屋、看板建築、同潤会アパートメント等を見学しながら、付近を台東区文化財保護審議会委員によるガイドで散策する事業を実施しました。

◆推進委員会での評価

「人がやっと通れるような路地裏や同潤会アパートメントの内部、屋上等東京にもまだまだこのような町並みがあるのだということを再発見した。」「ひとつひとつは指定の文化財ではないが、地域の文化的資源をよく発掘している。」「配布資料や事前の調整がうまく、その企画力とあわせて評価できる。」という評価があがりました。普段の街中での風景をクローズアップした点が大きく評価されました。



○企画事業 池上本門寺宝塔修理工事現場の公開(池上本門寺、大田区立郷土博物館)

文政11年(1828)、日蓮聖人五百五十遠忌を記念して、江戸芝口講中を本願主として再建されたものです。建築年代は新しいですが、宝塔形式の遺構として珍しいものです。東京文化財ウィーク2009では、実際の保存修理現場を見学しながら修理に携わる方の解説を聞く、修理現場公開事業を実施しました。

◆推進委員会での評価

「作業に従事する現場の方の声を直接聞くことができ、その説明や実際の作業の様子から宝塔の意匠的な価値を感じることができた。」「普段は見上げることしかできない屋根を間近で見ることができ、大変貴重な機会だった。」等修理現場の生の声を聞きながら修理の様子や建物の構造を間近に見る貴重な機会であったことが高く評価されました。



文化財見学の際のお願い！

文化財は私たち国民の宝物で、後生に引き継いでいかなければならない遺産です。文化財を見学するときには一般に以下のことに気をつけてください。

- 文化財の近くで火気を扱わない。
- 文化財の周りで走り回ったり、騒いだりしない。
- 写真の撮影は他の見学者の邪魔にならないようにする。
フラッシュ撮影については現地の案内に従う。
- 指定された見学場所以外の場所へはむやみに立ち入らない。
- ゴミは各自で持ち帰る。
その他、現地での案内に従って、みなさんが気持ちよく見学できるようにしましょう。



文化庁・東京都教育庁共催事業のご案内

文化財の保存活用に関する国・地方公共団体・民間団体等の連携に関する協議会

文化財保護法施行60周年記念フォーラム「みんなで支えよう文化財」（仮称） 国・地方公共団体・民間団体による文化財の保存活用

文化財保護法は、社会の変化に伴い随時改正が行われ、文化財の種類や保護措置の多様化が図られるなど整備・充実が図られ、今年度で施行60周年を迎えます。

文化財は、我が国の歴史や文化の理解に欠くことのできない国民共通の財産として、これまで大切に保護の措置が図られ継承されてきました。

近年、文化財を総合的にとらえ、その周辺環境も含め一体として保存・活用を図っていくとともに、広く社会全体で文化財を支える環境を整え、国、地方公共団体、地域住民やNPO法人などが相互に連携していくことが重要となってきました。

こうしたことから、文化財への関心を高め、文化財に関わる関係者の連携を強化し、地域文化の活性化に資するよう、文化財保護強調週間に文化財保護法施行60周年記念フォーラム「みんなで支えよう文化財」（仮称）を開催することとします。

開催日

平成22年11月3日（水・祝）

場所

東京国立博物館平成館大講堂

住所：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

交通

JR「上野」駅「鶯谷」駅徒歩10分
地下鉄銀座線「上野」駅徒歩15分

フォーラムの内容

国、地方公共団体及び民間団体による文化財の保存活用に関することをテーマとした、特別講演やパネルディスカッション、民俗芸能の実演などを予定しています。

参加方法

事前申込制
(詳細はお問い合わせください。)
参加料は無料です。

問い合わせ先

〒100-8959 千代田区霞が関三丁目2番2号
文化庁文化財部伝統文化課普及指導係
TEL：03-5253-4111（内線2872）
FAX：03-6734-3820
E-mail：chousei@bunka.go.jp

「下平井の鳳凰の舞」

アクセス方法と所要時間

武蔵引田駅(武蔵五日市線)から三吉野宿通り：徒歩15分
福生駅(青梅線)から中平井：下平井經由武蔵五日市行き(西東京バス)20分
五日市駅から中平井：下平井經由福生行き(西東京バス)20分
東京駅からの所要時間：約2時間
立川駅からの所要時間：約1時間

鳳凰の舞とは

鳳凰の舞は、幕末から明治に行われた後一時途絶え、昭和初年に再興され、昭和23年(1948)から春日神社の秋季祭礼に奉納されるようになりました。伝承によれば、京都より伝わった雨乞い唄に、祇園囃子と風流踊とが結びつき、それに江戸の奴歌舞伎の太刀踊が加わり、鳳凰の舞となったと考えられています。

この舞は、かつて雨乞いや悪病退散のために行われ、早魃が続いた時や悪病が流行した時に行われていたようです。

鳳凰の舞は「奴の舞」と「鳳凰の舞」で構成されています。

奴の舞

奴の舞は、小学校の1年生から6年生の男児が舞います。ニワ(演技をする場所)の中央に大太鼓を置き、祇園囃子にあわせて奴が舞いながら出てきて、大太鼓を中心に円陣を作り、一人一人が台詞を言います。「えっへん、昔々その昔、祭裏の御所のお慶び、鳳凰の舞を奉る、まことにめでとう、候いける、ほほ敬って申す」

このほかにも、長短様々な台詞があり、憶えるのは大変ですが、奴の子どもたちは練習に励み演じてます。



奴の舞

鳳凰の舞

奴の舞のつぎに鳳凰の舞を行います。現在は中学生や高校生と壮年(30~40歳)の男性が行います。鳳凰の被り物をつけた者5人(鳳凰4人・小太鼓1人)、赤い頭巾をつけた者5人(軍配1人、ササラ4人)の合計10人で舞います。

大太鼓を円の中央におき、鳳凰が交互に向かい合い、その次の円にササラが向き合い、外側に軍配と小太鼓が向かい合います。

小太鼓以外の鳳凰はバチを持ち、大太鼓を叩きます。大太鼓には、踊りの途中で転がすため、コモが巻かれています。

軍配がこの舞のリーダーで、笛の切れ目切れ目に「そうりや、持ってこい」と掛け声をかけ、鳳凰が大太鼓を叩きながら勇壮な舞を行います。

春日神社・八幡神社の祭り

鳳凰の舞は、9月29日に近い土曜日と日曜日の2日間に春日神社・八幡神社の祭礼に奉納され、芸能の保存伝承を行っています。

祭礼初日の土曜日(宵祭)は、三吉野会館を17時に出発し、4カ所のニワで演技を行い20時に会館に戻ります。日曜日(本祭)は、11時に出発し、8カ所のニワで演技を行い20時に戻ります。

行列は60名以上となり、笛と太鼓による石町囃子を奏でながら進みます。

春日神社・八幡神社の祭礼は、鳳凰の舞のほか日の出町指定文化財である重松流祭り囃子(志茂町、加美町、八幡)や山車(志茂町、加美町)が繰り出され、日の出町の秋の風物詩になっています。祭礼日：毎年9月29日に近い土曜日(宵祭)と日曜日(本祭)

問い合わせ先

日の出町教育委員会文化スポーツ課文化財係
電話 042-597-6539
住所 日の出町大字平井2673-1

三宅島

交通及び案内図

三宅島

海路 東海汽船 竹芝桟橋より大型客船（東海汽船：22:20発⇒翌5:00着）

空路 ANA 羽田空港より航空機（11:45発⇒12:30着）

1. 所在地・地形

三宅島は東京の南方海上約180km、伊豆諸島のほぼ中央に位置し、島の中央に標高775mの雄山を中心に、五つの集落があります。また、三宅島は火山活動が非常に活発で、記憶に新しい平成12年の噴火を含めると、17回もの噴火が記録されているように、島内の至る所で溶岩流の痕跡を見ることが出来ます。

2. 郷土資料館

三宅村役場臨時庁舎のある阿古地区には、三宅島郷土資料館があります。三宅島郷土資料館は、平成22年3月20日(土)にリニューアルオープンし、三宅島の中で発掘された遺跡や東京都無形民俗文化財に指定されている三宅島の歌と踊りの映像、東京都指定有形文化財の木造楽面や銅鏡などを見ることが出来ます。



木造楽面



銅鏡11面

3. 天然記念物

三宅島には、多くの天然記念物があります。国指定天然記念物であるアカコッコは、三宅島の鳥として指定されていて、道端でも見かけることがあります。また、東京都指定旧跡の三宅島役所は、民家としては伊豆諸島の中で最古最大の規模を誇るといわれていて、同じ敷地内には東京都内最大の樹木ビャクシンがあり、樹齢は400年以上といわれ、高さは約23mあります。



ビャクシン



三宅島役所

問い合わせ先

三宅村教育委員会

電話 04994-5-0952

旧前田侯爵家駒場本邸の御利用案内

目黒区立駒場公園内にある旧前田侯爵家駒場本邸（洋館）では、この秋も様々なイベントを実施して皆様の御来館をお待ちしております。

●10/17(日)旧前田邸と駒場の文化財ガイドツアー

（東京文化財ウィーク2010特別企画）

旧前田侯爵邸やその周辺の文化財を巡るツアーです（詳しくは東京文化財ウィーク特集の3ページを御覧ください。）。

●11/13(土)都立芸術高校コンサート

都立芸術高校音楽科の生徒達によるサロンコンサートです。前回5月15日に行われたコンサートでは、生徒達の熱の入った演奏に満員の客席も魅了されていました。

なお、このコンサートは事前予約不要、入場無料です。

●11/20(土)旧前田侯爵邸アカデミー

旧前田侯爵家駒場本邸に関する魅力を発信する、各回テーマを設けた講演会等を実施している「旧前田侯爵邸アカデミー」。第2回目となる今回は、「日本の洋風建築」をテーマにした講演会を予定しています。参加者募集の方法については、今後、東京都広報等でお知らせいたします。

なお、旧前田侯爵家駒場本邸（洋館）は以下の日程で一般に公開しています。

一般公開日	毎週水～日、祝日（年末年始を除く）
公開時間	午前9時～午後4時30分（駒場公園の閉園時間は午後4時30分ですので御注意ください。）
場所	目黒区駒場4-3-55 駒場公園内
交通	京王井の頭線「駒場東大前」駅西口下車 徒歩12分 小田急線「東北沢」駅、「代々木上原」駅下車 徒歩13分 東急バス渋谷駅から幡ヶ谷行き「代々木上原」 徒歩3分



■東京都指定文化財情報データベース

東京都教育委員会では東京都指定文化財情報ホームページを平成21年度から3ヵ年度計画で「東京都指定文化財情報データベース」として改訂しています。

今回のリニューアルでは、各文化財の解説、一部の文化財の写真や所在場所等が検索できるようになり、また同時に英語の記事も掲載しています。

各文化財の情報は順次更新していますので、こちらも東京の街巡りの参考にぜひ御利用ください（新しいホームページが完成するまでは旧文化財情報ホームページも稼働しています。）。

なお、インターネット上で適切な表記ができない可能性のある文字は、「かな」又は「簡易」表記となっています。御了承ください。

ホームページアドレス

<http://www.syougai.metro.tokyo.jp/bunkazai/index.html>
東京都生涯学習情報ホームページ
<http://www.syougai.metro.tokyo.jp/> から
「文化財情報」をクリックしても表示することができます。

編集担当から

今回の特集は今年で13回目を迎えた「東京文化財ウィーク」です。秋のお出かけシーズン、自分の身の回りにある歴史や文化を見つめなおす旅に出るのも面白いかもしれません。文化財を個人でじっくり眺めるもよし、地元の講演会やめぐり等の企画事業に参加してたくさんの方と様々な角度から眺めるのもよし。お気に入りの文化財を見つけて歩いてみるのはいかがでしょうか。

平成22年9月30日

発行 東京都教育庁地域教育支援部管理課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03 (5320) 6862